

稲作情報

(今年度の作柄について)

令和3年度第7号

令和4年1月17日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、
喜多方市、北塩原村、西会津町

作柄概況

1 育苗期

- ・播種作業は、平年並に行われました（表1）。
- ・降霜があったことから、一部で低温による出芽不良やムレ苗の発生が見られました。

表1 播種作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	4/12	4/21	4/28
平年	4/13	4/20	4/26

2 田植期

- ・田植作業は、平年並に行われました（表2）。
- ・田植後は表層剥離や藻類の発生、ガス湧き等により初期生育が遅延したほ場が見られました。

表2 田植作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	5/12	5/18	5/27
平年	5/12	5/18	5/25

3 分けつ期

- ・7月上旬にまとまった降雨があったものの、6～7月は全般的に高温・多照で推移しました。
- ・この間の水稻の生育は、草丈は平年並みで茎数は多く、葉色は淡く推移しました。

4 幼穂形成期～出穂期

- ・幼穂形成期は平年並みで、出穂期も平年並みとなりました（表3）。

表3 出穂状況

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	7/29	8/3	8/8
平年	7/30	8/3	8/8

5 登熟期・刈取期

- ・8月中旬と9月上旬に低温寡照があたため、登熟が緩慢となり、特にコシヒカリで成熟期が遅れました。
- ・ひとめぼれなどの刈取作業は平年並みに始まりましたが、コシヒカリの成熟期の遅れにより、終期は平年より遅くなりました（表4）。
- ・倒伏は平年より少ない状況でした（図1）。

表4 刈取作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	9/23	10/6	10/21
平年	9/24	10/5	10/16

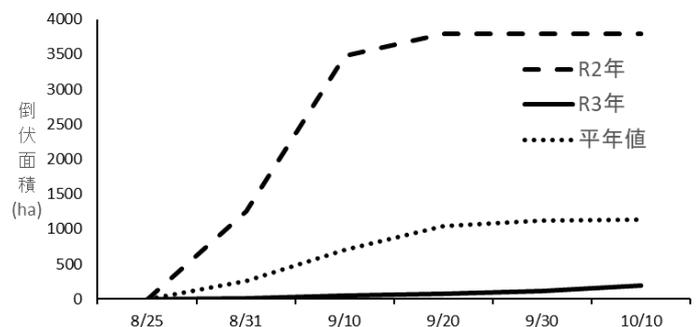


図1 倒伏面積の推移

6 収量・品質

- ・12月8日に東北農政局が公表した令和3年産米の作柄は、会津で作況指数「100」の「平年並み」でした（県全体では作況指数「101」の「平年並み」）。これは、田植期以降の気温が概ね平年を上回って経過したこと等により、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が平年に比べ「やや多い」となり、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が8月中旬以降の低温・日照不足等の影響を受けたことによるものです。
- ・一等米比率は、93.5%（12月末時点、JA調べ）でした。主な落等要因は、未熟粒や斑点米カメムシによる着色粒でした。

7 病虫害等発生状況

<病害>

・育苗期病害

育苗期の低温により、一部ではムレ苗が見られました。育苗期間の急激な温度変化や、加湿過乾燥に注意しましょう。

・葉いもち

田植え後が好天で推移したため、発生は少ない状況でした。また、育苗箱施用剤の普及も近年発生が少ない要因と考えられます。

・穂いもち

8月中下旬に感染好適条件が断続的に出現したことで、発生が目立ちました。一部地域では発生程度の高いほ場も見られました。

<害虫>

・イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ

概ね平年並みの発生で、大きな問題にはなりませんでした。

・斑点米カメムシ類

近年発生量が多く、農産物検査における2等以下への主な格付け理由になっています。7月29日には県病虫害防除所から防除情報が発表されており、発生量は平年並みに多い状況でした。喜多方地域における主な発生種はアカスジカスミカメで、この種類は飛翔能力が高いため、畦畔付近のみならず、ほ場全体の被害に注意が必要です。

<雑草>

・雑草イネ

発生地域の拡大が見られています。玄米に混入すると農産物検査で2等以下へ格付けされる可能性があるため、発生量が少ない内に抜き取りましょう。

◎お知らせ

- ・令和4年産米も価格の低迷が見込まれています。経営の安定化を図るため、飼料用米や高収益作物等への作付転換を検討しましょう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801